

amdaimic

No. **108**
August 2022

特集

在留資格から 見える課題



外国人と医療をつないで 30 年

AMDA 国際医療情報センター
AMDA International Medical Information Center

月～金曜日 10:00～16:00

多言語電話医療相談 TEL 03-6233-9266

HP で問診票や医療ガイドの外国語版をダウンロード

医療通訳など事業問合せ TEL 050-3405-0397

<http://www.amdamedicalcenter.com/>

AMDA medical 検索

センター東京：〒160-0021 新宿区新宿歌舞伎郵便局留 TEL 03-5285-8086 町田オフィス：〒1194-0005 東京都町田市南町田 2-1-47 TEL 042-799-3759

AMDAIMIC 通信

医療相談の現場から 円滑な医療利用のために

文・鈴木亮子
AMDAIMIC 事務局長

私たちの願いは 1991 年の設立以来、ずっと変わっていません。日本に住んでいる様々な国の人々が不安なく医療機関を受診できること。そして、医療機関も日本人の患者と同じように、外国人患者を不安なく迎え入れられること。そのために、外国人患者の側には、日本と母国の違いを理解し日本の医療をスムーズに利用できるよう、多言語で情報を提供し、医療機関からは外国人医療に伴う種々の相談を受けてきました。

30年にわたって同じことを繰り返してきたわけですが、この 20 年の間に、誰でもインターネットから情報を得る

ことが容易になりました。それは大きな変化ではありませんが、一人一人の抱える疑問や不安を解きほぐすためには、母国語でじっくり話を聞くプロセスが不可欠だと考えています。そのプロセスを経てこそ日本の仕組みを理解し、スムーズに受診する準備が整うと思うからです。

地味な活動であるがために大きな脚光を浴びることも少なく、自主事業として小規模な展開にとどまっていますが、私たちの活動を必要としてくれる人々がいる限り継続していきたいと念じています。

アムダの多言語 電話医療相談 ☎ 03-6233-9266 月～金 10:00～16:00

ウクライナ語はこちらへ
4月より、ウクライナ語でも対応しています ☎ 050-3405-0397 (事業本部)

New ウクライナ語 水曜日	英語 月～金曜日	中国語 火・木曜日	韓国語 月曜日
タイ語 火曜日	スペイン語 水曜日	ポルトガル語 金曜日	*医療相談料、医療通訳料は無料です。 詳しくは、HP をご覧いただくか、事業本部へお問い合わせください。
ベトナム語 水、金曜日	フィリピン語 月曜日	日本語 月～金曜日	

〈協力のお願ひ〉

AMDA 国際医療情報センターは、みなさまからの会費と寄付により運営され、外国人と医療をつなぐ活動をしています。会費及び寄付金を募っています。ぜひ、ご協力お願い致します。(尚、当センターの運営は、AMDA(本岡山)とは別会計です)

賛助会員 年会費 (1年度は4月1日～3月31日)

団体 1口 20,000円/個人 1口 6,000円/学生 1口 2,000円

ジュニア (中学生以下) 1口 1,000円

団体、個人会員は半年ずつの分納が可能です。初年度のみ 10 月以降に加入される場合は、個人は 3,000 円、団体は 10,000 円でご入会いただけます。振込先) 郵便振替:00180-2-16503 加入者名:AMDA 国際医療情報センター 銀行振込をご希望の方は、お手数ですがセンター東京までご連絡ください。お問合せ:センター東京 TEL 03-5285-8086

amdaimic

News Letter No.108 2022 年 8 月発行

発行: 特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター

制作: C-one studio

本誌掲載の記事、写真などの無断転載を禁じます。

消化器科・外科・小児科

小林国際クリニック

Kobayashi International Clinic

小林国際医院

平日 午前 9:15～12:00
午後 2:00～5:00
土曜日 午前 9:15～午後 1:00
休診日 水、日、祝日

神奈川県大和市西鶴間 3-5-6-110 小田急江の島線鶴間駅徒歩 4 分
<http://5884-international-clinic.com> TEL 046-263-1380



医療法人社団 慶泉会
町田慶泉病院
旧町谷原病院

外科・内科・整形外科・肛門科・泌尿器科・血液透析センター・療養病床・回復期リハビリテーション・訪問看護ステーション

東京都町田市南町田 2-1-47

<http://www.machida-keisen.com/>

TEL 042-795-1668

特集

在留資格から見える課題



環に陥ることになる。

このような状況の元をたどれば、年間決して少なくない、技能実習生という在留資格を捨てざるを得ない人たちが輩出してしまふその背景に問題があることに行き着く。そのような患者を受け入れる医療機関も困っているのだが、ただでさえ多忙な職場であるだけに加え、ことが人命にかかわるだけに医療機関から問題提起がされることは稀である。

新たな課題へ向けて

センターの相談対応の基本は、日本で生活する外国人に日本の医療制度に



上：NPO法人「日越ともいき支援会」の代表者、吉水慈豊氏（筆者撮影）。日本に住むベトナム人が困っているということを知って欲しいと、2021年にNPO法人にした。
右：ベトナム南部の都市ホーチミン市の町並み。

ついて説明し、理解をしてもらった上で、円滑な利用を促すことである。だがそれは、在留資格があり公的医療保険に加入していることが前提となる。しかしその前提条件から外れてしまう人たちについても、何とか利用できる公的手段はないかをできる限り模索することについてはこれまでと変わりはない。今後、社会が、新型コロナウイルス感染症の問題からさらに平静を取り戻していく、国内外の人びととの往来の増加が見込まれるにあたり、目を離してはならないことと考えている。
(文 佐藤琴恵 医療アドバイザー・AMDAMIC事務局)

相談の背景を知る 社会的背景を知ってこそ 実のある活動につながる

話は、ベトナム人からの相談が増えている。今回1960年代からベトナム人の支援を行っている団体「日越ともいき支援会（以下支援会）」の代表者、吉水慈豊氏にお話を伺った。現在、日本に滞在する外国人の在留資格のうち永住者の次に多いのが技能実習生である。この技能実習での滞在者を国籍別で見ると、ベトナムが最多となっている。吉水氏が語る、技能実習生の置かれている状況や制度そのものについての問題の先には、医療の問題がつかつてあるのだった。

技能実習生と医療

新型コロナウイルス感染症を契機に、日本で生活する外国人が有事の際に直面する困難さについて世間の認知度が高まった。その支援方法についても模索する機運が高まったようだが、感染状況が落ち着き社会が平常を取り戻そうとするようになると、その機運はそがれてしまいつつある。
AMDAMIC国際医療情報センター（以下センター）の電話相談件数は、コロナ前の水準に戻っている。センターでは日本で生活する外国人の医療へのアクセスについて多方面から考え、世の中に発信していくことも役割の一つとらえている。

近年、センターにかかってくる電

技能実習を途中で辞めてしまうことから起る問題がその一つだ。企業での実習を辞める人は毎年一万人近くいるというが、そうなる则在留資格の問題や日本の公的保険の対象を外れることになりがちだ。そのため、彼らが医療を必要とする状況になった場合、医療機関の受診をためらうことになる。そうこうしているうちに時間が経過してしまうため、いよいよ助けを求めるときには重症化してしまっている。早めには受診していれば回復も早く医療費も抑えられたかもしれないが、それができない状況ゆえに、悪循環



香ばしく栄養満点の薬食（ヤクシク）

干しレーズン、松の実、ひまわりの種、シナモン、黒砂糖と蜂蜜、醤油、ごま油などを全部混ぜて、差し水しながら蒸し上げる。

体に良いもの、漢方の材料が沢山入ってる「薬食同源」のおやつ。今や子供から大人まで好まれている。

腹持ちも良くて、栄養満点の薬食は忙しい時のご飯代わりにも十分である。

さあ、久しぶりに作り置きしてみよう！

amdamic スタッフの

おやつものがたり

第4回 韓国
文 ヒョイム

韓国の「薬食同源」のおやつ

新羅時代、旧暦一月十五日、鳥が王さまの命を救ったことから、毎年この日に鳥に感謝して香ばしいご飯を与えたのが、薬食の始まりと言われる。

幼い時、お祝いに招かれた母親の帰りを首を長くして待ち、わくわくしながらお土産の風呂敷きをほだいた記憶が鮮明にある。

彩りいろんな餅が入っていて、その中で一番好きな薬食があると大喜びして食べた。

私が結婚してからは、子供の誕生日や引っ越しのお祝い、姑の還暦時など、私が炊飯器で作るようになった。

ふやかしたもち米に皮むきの栗、干しなつめ、